




審査結果報告書

2023年 2月 / 日

主査 氏名 福田 倫也 

副査 氏名 東條 美奈子 

副査 氏名 上出 直人 

副査 氏名 堀田 一樹 

1. 申請者氏名 : DM20005 今村 慶吾

2. 論文テーマ :

Comparison of the association between six different frailty scales and clinical events in patients on hemodialysis
(血液透析患者における6種類のフレイル指標と臨床イベントとの関連の比較)

3. 論文審査結果 :

血液透析 (HD) 患者において、フレイルは入院、死亡などの臨床イベントと関連することが知られており、定期的にフレイルを評価することは疾病管理上重要である。しかし、臨床現場においてフレイル評価 (評価) は広く行われているとは言えない。本学位論文は、6種類の評価指標 [Fried Frailty Phenotype と Study of Osteoporotic Fractures Index (客観的+質問紙評価)、Short Physical Performance Battery (客観的評価)、Frail Screening Index と FRAIL scale (質問紙評価)、Clinical Frailty Scale (医療者判断による評価)] を用いて、Fried Frailty Phenotype (評価のゴールドスタンダード) と他の指標との一致率、6種類の指標と臨床イベント (全原因入院回数、骨折、全原因死亡) との関連を検討した。その結果、客観的評価と医療者判断による評価で定義されたフレイルは Fried Frailty Phenotype との一致率が高かったこと、客観的+質問紙評価、客観的評価、医療者判断による評価は、臨床イベントと有意に関連したが、質問紙評価は関連しなかったことが明らかになった。客観的評価および医療者判断による評価は、HD 患者の予後予測に有用であると結論していることは、臨床的に意義深い。以上より、博士 (医学) の学位取得に相応しいと判断した。